関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 第2回 東京シンポジウム

首都圏地震のワーストシナリオを、
どう描くか 〜私たちが東日本大震災から学ぶべきこと〜

地震・津波に原発事故が重なり、未曾有の被害を引き起こした東日本大震災。首都圏に本社機能を集中させている企業や行政は、BCP（事業継続計画）の前提となる「ワーストシナリオ」を直視する必要に迫られています。本シンポジウムでは、自然災害はもとより、原子力災害、防災行政、災害経済などの分野の専門家が東日本大震災を検証するとともに、「首都圏地震のワーストシナリオ」を多角的に議論します。

日時：平成23年10月28日（金）13:30～17:30
場所：日本消防会館 ニッショーホール

申込方法：関西大学社会安全学部ホームページからお申し込みください。
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

次第
総合司会：亀井 克之

講演
開会挨拶：関西大学副学長 黒田 勇

第一部 東日本大震災を検証する
「東日本大震災復興構想会議の提言を踏まえて、大震災の教訓を見出す」
———- 関西大学社会安全学部 須田 邦三 永松 伸吾

「原子力問題と電力不足を検証する」
———- 関西大学社会安全学部 須田 邦三 宇野 一彦

第二部 予想される首都圏地震の
「ワーストシナリオ」を描く
「東日本大震災・阪神淡路大震災から首都直下地震の被害想定を対策を見ること」
———- 明治大学法学部経済学科 中林 一樹

パネルディスカッション・質疑応答

コーディネーター：関西大学社会安全学部 環田 喜昭

パネリスト：河田 惠昭 小澤 守 中林 一樹 永松 伸吾 永田 喜三

閉会挨拶：関西大学社会安全学部 須田 邦三
河田 惠昭
（かわた よしあき）
関西大学社会安全学部・社会安全研究科長・教授。関西大学理事。人と防災未来センター長。2007年国連SASAKAWA防災賞、2009年防災功労者内閣総理大臣表彰。東日本大震災復興構想会議委員。日本災害情報学会会長。

小澤 守
（おざわ ももる）
関西大学社会安全学部准教授、日本情報学会動力学エネルギーシステム部門長。日本情報学会副会長などを歴任。原子力研究開発機構もじろんじ安全委員会委員長代理。熱工学分野の業績多数。

中林 一樹
（なかばやし いつき）
明治大学政治経済学研究科・危機管理研究センター特任教授。地震防災・復興研究者の第一人者。文部科学省地震調査研究推進本部政策委員会委員。内閣府首都直下地震対策等専門調査会委員などを歴任。

永松 伸吾
（ながまつ しんご）
関西大学社会安全学部・准教授、防災・減災政策および経済復興が専門。2007年日本計画行政学会銅賞、2008年主著『減災政策論入門』（弘文堂）にて日本公共政策学会著作賞受賞。

永田 尚三
（ながた しょうぞう）
関西大学社会安全学部・准教授、日本防災学会議会理事などを歴任。専門は消防行政・防災行政の研究で、東日本大震災における消防行政の課題、行政機関間の広域応援体制の在り方が現在の研究上の関心事。